

令和2年度 決算報告

町の1年間の予算がどのように使われたのか、その収入（歳入）と支出（歳出）の内容を明らかにしたものが決算です。令和2年度の一般会計及び特別会計の決算が、9月に開催された町議会定例会において認定されました。今月号では、決算の公表とともに、納められた税金がどのように使われ、どのような財政状況なのか、財政指標とあわせてお知らせします。

■詳細 企画政策課まちづくりグループ ☎ 25-2135



○ハイヤー利用助成事業
297万4千円

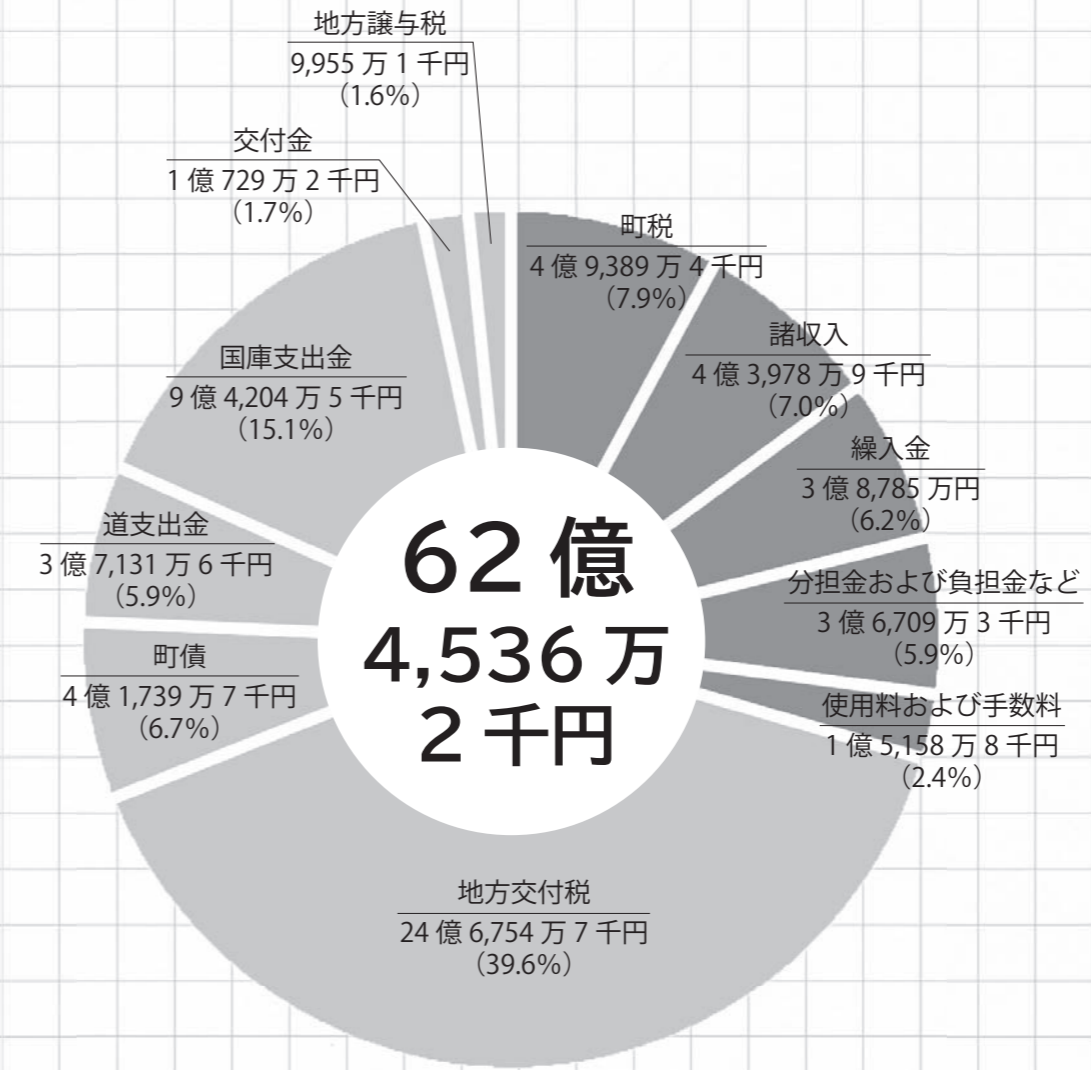


○清里小学校大規模改修事業
1億6,584万1千円

- 令和2年度の主な事業
- 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 2億3,380万円
 - ・新型コロナ感染症対策用品購入事業
 - ・子育て世帯応援特別給付金事業
 - ・妊産婦応援支援金事業
 - ・学生等応援特別給付金事業
 - ・清里町北海道スタイル店舗改修等事業
 - ・プレミアム商品券発行业業 ほか

一般会計

歳入



歳入総額は、前年度と比較して8億2千111万1千円増加しました。その要因として、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、国から町の特定の経費に対して交付される国庫支出金が前年度より7億3千174万2千円増加したことが挙げられます。また、国から交付される地方交付税は、2千630万4千円増加しました。

歳入の内訳（左の円グラフ）としては、町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が29・5%、地方交付税や国・道交付金などの依存財源の割合が70・5%となりました。

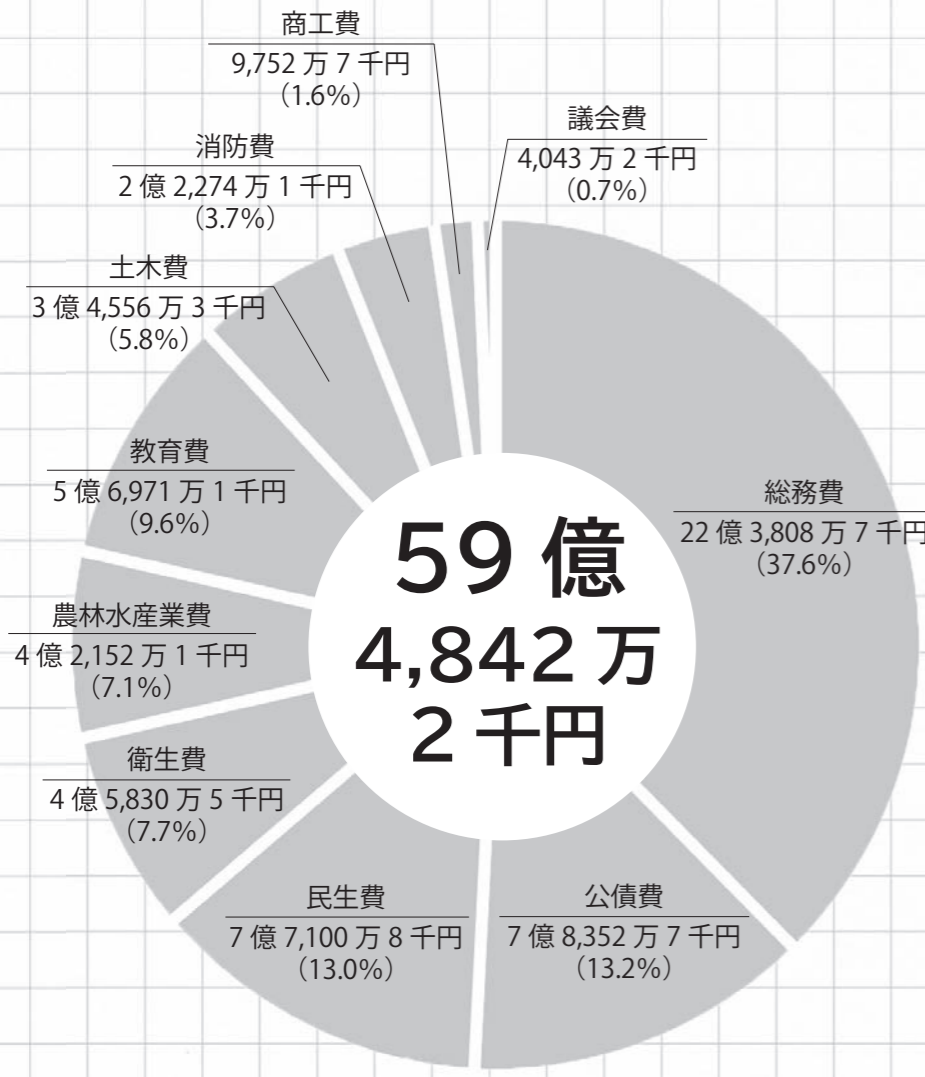
特別会計

区分	歳入	歳出
介護保険事業特別会計	4億5,916万円	4億3,364万7千円
国民健康保険事業特別会計	7億708万9千円	6億9,795万8千円
後期高齢者医療特別会計	7,654万6千円	7,640万5千円
簡易水道事業特別会計	7,122万2千円	6,511万7千円
農業集落排水事業特別会計	1億9,527万5千円	1億9,062万円
焼酎事業特別会計	1億2,576万8千円	1億2,354万6千円

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区分する必要がある場合に設けられる会計です。清里町では、清里焼酎の製造および販売を行うための焼酎事業特別会計など6つの特別会計があります。

一般会計

歳出



歳出総額は、前年度と比較して8億2千268万8千円増加しました。目的別で見た内訳（左の円グラフ）では、総務費が最も多くなっており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症緊急対策事業に取り組んだことや、特別定額給付金の交付などにより、前年度より9億1千703万6千円増加となりました。

また、教育費では、清里小学校の長寿命化を図るための改修工事や、国が主導する「GIGAスクール構想」に向けた校舎ネットワーク環境や児童用タブレットの整備、教員への操作アドバイスなどの支援など、教育関連の整備に取り組んだ結果、前年度と比べて1億464万2千円の増加となりました。

健全化判断比率

「財政健全化比率等」が法律で定められた基準値を上回ると、国の指導・監督の下で財政の再建を行うこととなり、厳しい財政運営をしなければなりません。

清里町の令和2年度決算に基づく数値は、いずれも基準値以下であることから問題はありませんが、健全財政維持のため、引き続き限られた財源を有効に活用していく必要があります。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
清里町	-	-	9.3%	-
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	基準なし
特別会計	資金不足比率	経営健全化基準		
簡易水道事業特別会計	-	20.0%		
農業集落排水事業特別会計	-			